

## <皮膚皮下良性腫瘍>

皮膚腫瘍あるいは皮膚から触れる良性腫瘍の中には様々な疾患が存在します。

代表的な疾患は

粉瘤

脂肪腫

石灰化上皮種

類皮嚢腫

脂漏性角化症

などが挙げられます。

### 【粉瘤】

皮膚の一部が陥凹して袋状になったものです。袋が皮膚とつながっているため、動かそうとすると皮膚と一緒に動きます。内容物は悪臭のある粥状のものです。

### 【脂肪腫】

皮膚とくっつかずに良く動く軟らかい腫瘍として触れます。小さいものであればそのまま様子も見ても差し支えない事が多いです。

### 【石灰化上皮腫】

石灰化上皮腫とはその名の通り皮膚の一部が石灰のように硬くなる良性の皮下腫瘍の一つです。他の皮膚皮下腫瘍と同じようになぜ発生するのか原因は分かっていませんが、毛根に存在する毛母細胞を起源とする腫瘍です。比較的若い人、特に小児の顔（まぶた）、腕、頸などに発生することが多いようです。

### 【類皮嚢腫】

眼、鼻の周囲、耳後部、口腔底などの顔面領域に好発する円形の良性腫瘍です。全身のどこにでも発生しますが、顔面以外では卵巣や腰椎での発生の報告もあります。顔面では眼窩上外側の発生が最も多いとされ、出生後、早期に見つかることが多いです。

### 【脂漏性角化症】

中年以降に発生し、加齢とともに増える皮膚の良性腫瘍で、皮膚の老化現象のひとつとされています。 遺伝的要因や日光による露出部の皮膚の老化が、誘因と考えられるものがあります。

疾患に応じて治療方法も異なります。当科では形成外科専門医の診察の下、最も適した治療法を施行させていただきます。